

武井武雄展
幻想の世界へようこそ

4月19日(土)ー6月22日(日)

一般 800(640)円
高大生・65歳以上 500(400)円
※()内は20名以上の団体料金

画家、版画家、デザイナー、玩具作家、教育者など、多彩に活躍したマルチ・アーティスト武井武雄の生涯と、豊かで幻想的な作品世界をご紹介します。



武井武雄 《どうぶつえん》
1929 (昭和4) 年



刊本作品

皇室を彩る美の世界
福島ゆかりの品々

7月5日(土)ー8月31日(日)

一般 1,200(960)円
高大生・65歳以上 900(720)円
※()内は20名以上の団体料金

皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室の名品を中心に、会津松平家から秩父宮雅仁親王と御結婚された勢津子妃遺愛の品々など、福島ゆかりの美術も紹介します。



伝 狩野永徳 《四季草花図屏風》16世紀 (安土桃山時代)
国 (皇居三の丸尚蔵館収蔵)

アニメーション美術の創造者
新・山本二三展

9月13日(土)ー11月9日(日)

一般 1,000(800)円
高大生・65歳以上 700(560)円
※()内は20名以上の団体料金

多くの国民的アニメーション映画において美術監督を務めた山本二三。その手描き背景画を画材や制作過程とともに紹介し、世界に誇る背景美術の魅力に迫ります。



もののけ姫 《シン神の森 (5)》1997年
© 1997 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, ND

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語
現代マイセンの磁器芸術

11月22日(土)ー1月18日(日)

一般 1,200(960)円
高大生・65歳以上 900(720)円
※()内は20名以上の団体料金

18世紀にヨーロッパ初の磁器焼成に成功した名窯マイセン。高度な技術と豊かな創造性から生まれた、1960年頃からの「現代マイセン」の世界をご紹介します。



「インプレッション」カップ&ソーサーなど マイセン 1985年
装飾：ハインツ・ヴェルナー、フォルクマル・プレツチュナイダー
器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー

戦後80年
戦争と子どもたち(仮)

1月31日(土)ー3月22日(日)

一般 800(640)円
高大生・65歳以上 500(400)円
※()内は20名以上の団体料金

今から約80年前の戦時下に制作された子どもをめぐる「美術」を紹介し、画家たちが子どもたちにどのような眼差しを向けていたのかを検証します。



今西中通 《子供を抱く女》
1943(昭和18)年頃 当館



松本竣介 《りんご》
1944(昭和19)年
個人蔵(板橋区立美術館寄託)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4/20 4/23			7/6 7/9		9/28 10/1			1/18 1/31				
続・“雰囲気”を展示する	ターナー生誕 250 年			語る風景			草花を愛でる II			臨時休館	都市の遊歩者	
草花を愛でる I	エキゾチック・ヴィジョン ―異国への憧憬			草土社とその周辺			山本二三が敬愛した画家 ―大下藤次郎と『みづゑ』				近現代の日本画	
イギリス美術の広がり	明治石版画と町田信次郎			昭和 100 年 ―揺らぐ社会と対峙する			没後 80 年 木彫家・三木宗策				尖る美術 シッカートとその時代	
北川民次の版画	創作版画の時代			線を刻む ―エングレーヴィングの世界			光と闇のあわい ―日本の戦後版画				版画のなかの子どもたち	
佐藤潤四郎とガラスの神様	金属器の表情			食卓を彩る美の世界			工芸のモダニズム				ガラスの造形	
4/19			6/22 7/5		8/31 9/13			11/9 11/22			1/18 1/31	3/22

武井武雄展 幻想の世界へようこそ

皇室を彩る美の世界 福島ゆかりの品々

アニメーション美術の創造者
新・山本二三展

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語
現代マイセンの磁器芸術

戦後80年 戦争と子どもたち(仮)

第23回風土記の丘の美術展
市内の小学生による作品展

第17回風土記の空
市内の中学校美術部による作品展